

## 形成外科 乳房再建(広背筋皮弁)術を受けられる方へ

本人・家族

患者名 @PATIENTNAME 様

主治医:

看護師:

サイン

日時	/		/		/		/	
経過	処置前日	手術日		1日目	2日目	3日目		
		術前	術後					
達成目標	手術の準備が出来る	安全に手術を受けることが出来る	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術部位に負担をかけない過ごし方が出来る</li> <li>バイタルサインが安定している</li> <li>創痛コントロールが出来ている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術部位に負担をかけない過ごし方が出来る</li> <li>バイタルサインが安定している</li> <li>創痛コントロールが出来ている</li> </ul>				
治療処置薬剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>静脈血栓予防のための弾性ストッキングを準備します</li> <li>ネームバンドをつけます</li> <li>麻酔科の診察があります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弾性ストッキングをはきます</li> <li>手術着を着用します</li> <li>身につけているもの(時計・入れ歯・コンタクトレンズなど)を外してください</li> <li>長い髪は結んでください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続点滴と抗生剤の点滴があります</li> <li>酸素とモニターを明日の回診までつけます</li> <li>背中と乳房の創部に管が入っています</li> <li>検温時に皮弁の観察をします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点滴がありますが、食事が半分以上とれるようになれば、抜きます。</li> <li>傷の状態によって処置があります</li> </ul>				
検温	 入院時	6時	帰室後1・2・4時間後に観察します	6時・10時・14時・18時 	3回	1回(体温は3回)		
安静リハビリ	制限ありません		ベッドアップ60度まで 	回診時、歩行します(病棟内のみ)				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャワーをして、洗髪もしてください</li> <li>爪切りをしてください</li> </ul>			ベッド上で体を拭いたり洗面をします。				
排泄		手術前の排尿を済ませて下さい	おしっこの管を入れます	トイレ歩行が出来たら管を抜きます				
食事	食事・水分の制限については、オリエンテーション用紙をご参照下さい 		帰室後4時間で、腸の動きをみて水分・食事が開始になります					
説患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院生活、手術準備について看護師が説明します</li> <li>手術・麻酔について医師から説明があります</li> <li>手術・麻酔の同意症を提出してください</li> <li>手術の必要物品を準備してください</li> </ul>	手術中、家族の方はお部屋かデイルームでお待ちください	<ul style="list-style-type: none"> <li>痛み・吐き気などありましたらお知らせ下さい</li> <li>手術後、医師より説明があります</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術下側の乳房・脇の下は圧迫しないようにしましょう</li> <li>手術側を下にして横になるのは禁止です。反対側は軽く(30度程度)なら横向きになれます</li> <li>手術した側の腕は、肩より高く上げないようにしましょう</li> <li>腹帯が乳房にかかって圧迫しないように注意しましょう</li> </ul>				

病名、入院期間等は現時点で考えられるものであり、治療・検査等を進めるにしたがって変わることがあります。

日時	/ ~ /	/ ~ /	/	/
経過	4日目～6日目	7日目～13日目	14日目	15日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術部位に負担をかけない</li> <li>過ごし方が出来る</li> <li>バイタルサインが安定している</li> <li>創痛コントロールが出来ている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活動作に支障が無い</li> <li>創部に異常が無い</li> <li>38度以上の発熱がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活動作に支障が無い</li> <li>創部に異常が無い</li> <li>38度以上の発熱がない</li> <li>退院の準備が出来ている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して退院できる</li> </ul> 
治療 処置 薬剤	<p>傷の状態によって処置があります</p> <p>背中と乳房の創部に管が入っています。排液量が少なくなれば抜きます。</p> <p>検温時に皮弁の観察をします</p>		創部の処置方法を説明します	→
検温	1回(体温は3回) 			→ 6時に測定します
安静 リハビリ	院内歩行出来ます			→
清潔	背中の管が抜けたら下半身、乳房の管が抜けたら全身のシャワーが翌日から出来ます			→
排泄				
食事				
説患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術下側の乳房・脇の下は圧迫しないようにしましょう</li> <li>手術側を下にして横になるのは禁止です。反対側は軽く(30度程度)なら横向きになれます</li> <li>手術した側の腕は、肩より高く上げないようにしましょう</li> <li>腹帯が乳房にかかって圧迫しないように注意しましょう</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>次回外来受診日は退院時に説明します</li> <li>診察券を必ずお受け取りください</li> <li>異常がありましたら、外来受診してください。</li> </ul> 